

登録コード:MH314300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	徒手療法基礎論【20M以降】 Manual Therapy			
担当教員	百瀬 公人			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻/3年 後期(前半) 月曜・1時限 月曜・2時限			
単位数、講義室	1単位	保健学科運動療法実習室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		理学療法における安全で効果的な徒手療法のコンセプトと技術の要点を理解した上で、基本的な技術を実践することができる。	
	MH25カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・理学			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		徒手療法に必要な評価と徒手療法の適応を説明することができ、対象とする疾患や病態を選択することができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		徒手療法として確立している評価・治療のみならず、まだ不明である点や技術として発展させなければならぬ点を説明することができる。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業では、徒手介入による理学療法の原理と方法を学び、徒手療法の適応・禁忌および基本的な評価方法と治療技術を修得します。 本授業では、1年次の「解剖学」、「運動療法基礎論」の知識や技術を前提に学ぶことになります。そして本授業の内容は、3年次の「臨床基礎実習」、4年次の「臨床実習」における重要な基礎知識と技術になります。 本授業は、担当教員の医療機関やスポーツサポート現場における理学療法士としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回 (9月28日) 徒手療法概論、マッサージの基礎、マッサージの実際 第2回 (10月5日) マッサージの実際 第3回 (10月14日) マッサージの実際 第4回 (10月19日) マッサージの実際 第5回 (10月26日) モビライゼーションの基礎、モビライゼーションの実際 第6回 (11月2日) モビライゼーションの実際 第7回 (11月9日) モビライゼーションの実際 第8回 (11月16日) 筆記試験および実技試験 授業アンケート			
授業の進め方	マッサージおよびモビライゼーションの基本的な考え方と具体的な実施方法について、講義・実習を通して学修します。実習では、教員の技術指導の下、学生同士でペアを組んで徒手療法の基本的な技能の修得を進めていきます。			
テキスト,教材,参考書	配布資料を基本とし、参考書等については、授業の中で紹介します。			
成績評価の方法	筆記試験50%、実技試験50%とし、総計の60%以上を合格とします。			
成績評価の基準	筆記試験および実技試験における成績評価の判定基準は以下の通りとします。 筆記試験は、以下の基準で採点します。 達成目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。 実技試験は、以下の基準で採点します。 対象者に安全な徒手療法を行うことができる：60点 対象者に安全で、基本的な徒手療法を行うことができる：70点 対象者に安全で、効果的な徒手療法を行うことができる：80点 対象者に適切な治療を選択し、効果的な徒手療法を行うことができる：90点 対象者に適切な治療を選択し、十分に効果的な徒手療法を行うことができる：100点 以上の筆記試験、実技試験の結果をそれぞれ50%に換算し、それらの合計点に基づいて以下のように評価します。 90～100点：秀 80～89点：優 70～79点：良 60～69点：可 60点未満：不可			
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回、授業の終わりに、次回までに調べてくるべき内容について説明を行います。			

事前事後学習の内容	【事後学習について】 毎回、授業のはじめに、前回の授業の要点について質問を行いますので、自分の言葉で端的に分かりやすく説明できるように準備して授業に臨んでください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（4時間×7.5回）+ 自己学習時間15時間（2時間×7.5回）= 45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	実技の技能は繰り返して練習しないと身につきません。学生同士で授業以外の時間も利用して練習を重ね技能の向上に努めてください。 質問・相談への対応：百瀬 公人 kmomose@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日12時～13時 保健学科南校舎4階 百瀬研究室